



街には様々な人がいます。あれ…困 っている人がいるかもしれません。



バリア

✓ バリアって何だろう？

なバリア

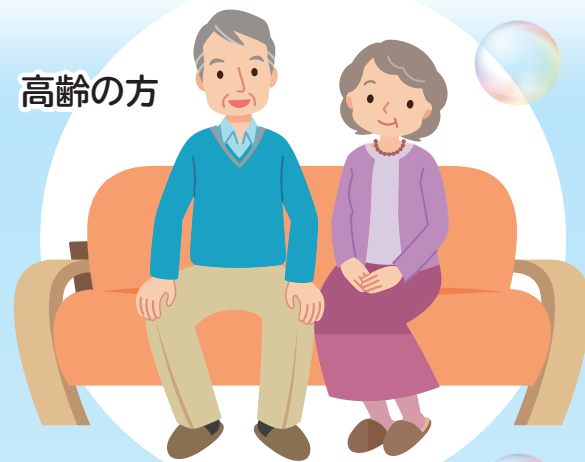
なバリア

💡 あなたの身近にどのようなバリアがありますか？
それに対して何ができそうですか？

から

多様な人々が共生する社会

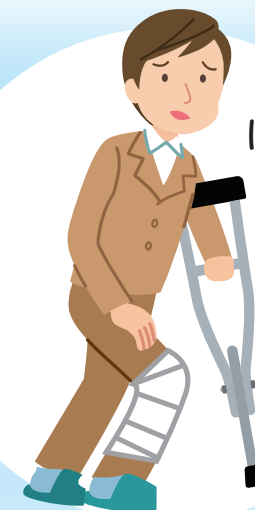
高齢の方



乳児



けが・病気



妊婦



音楽が得意



話すことが好き



外国の方



読書が好き



几帳面



障害のある人



動きがゆっくり



バリアフリー

バリアフリーの「バリア」とは、英語で障壁（かべ）という意味です。
つまりバリアフリーとは人々が移動するときに障壁になっているバリアを なくすことです。

バリアフリー社会を実現するためには4つのバリアを取り除くことが必要と言われているよ。

物理的なバリア

出入り口や通路に段差がある 等

電車やバスなどの公共交通機関、道路や建物などで、利用する人に不便さを感じさせる物理的なバリアのことです。

例えば



制度的なバリア

障害を理由に就職の試験が受けられない 等

社会のルールや制度によって、その人が持っている力を出すことができる機会をうばわれているバリアのことです。



文化・情報面でのバリア

目の不自由な人のための音声案内が出ない 等

情報の伝え方が十分でないために、必要な情報が平等に得られないバリアのことです。

例えば

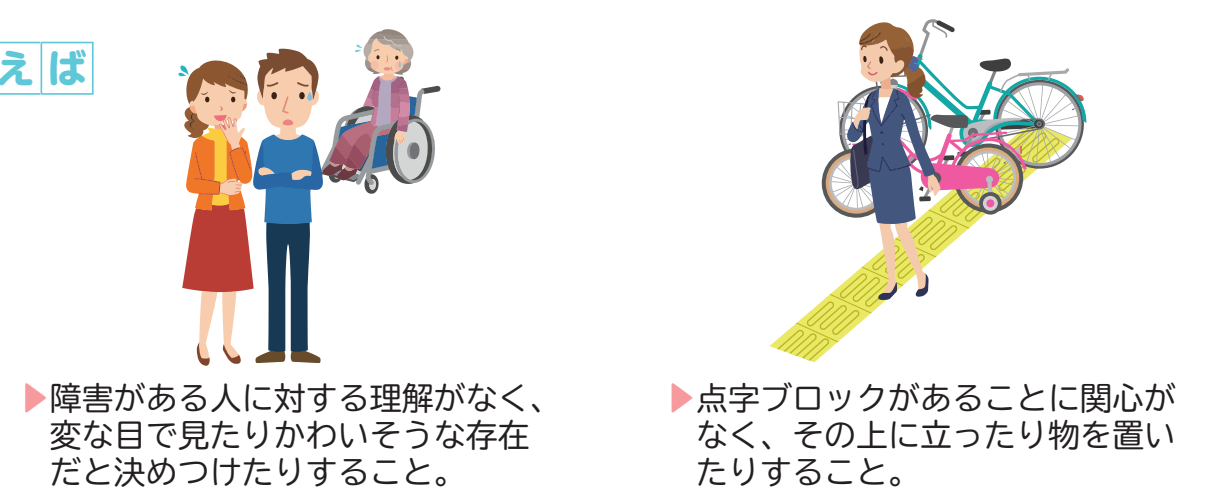


意識上のバリア

「かわいそうだから」と特別扱いする 等

心ない言葉、偏見や差別、無関心など、困難さがある人を受け入れないバリアのことです。

例えば



「ハートビル法（1994 年）」「交通バリアフリー法（2000 年）」が統合して 2006 年に「バリアフリー新法」が制定されました。

+ 高齢者、障害者（身体障害者・知的障害者・精神障害者・発達障害者を含む、全ての障害者）、建築物、公共施設のバリアフリー化を推進するとともに、駅を中心とした地区や、高齢者、します。また、バリアフリー化のためのソフト施策も充実します。

妊婦、けが人などの、移動や施設利用の利便性や安全性の向上を促進するために、公共交通機関、障害者などが利用する施設が集まった地区において、重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進

ユニバーサルデザイン(UD)

年齢・障害の有無、能力にかかわらず、できる限りのすべての人が使いやすいように情報・施設・製品・環境などをデザインすること。

バリアフリーより一歩進んだ考え方。

ユニバーサルデザインには「7つの原則」という目標があるんだよ。



自動ドア



多機能トイレ



絵文字ピクトグラム



音響時間・表示信号機



点字のついた飲料

ノーマライゼーション

高齢者や障害のある人を特別扱いせず、一般の人々と同様に、地域の中でともに暮らせる社会づくりを目指す考え方。社会福祉理念の一つ。

ボッチャ

目標とする白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。



【ユニバーサルスポーツ】

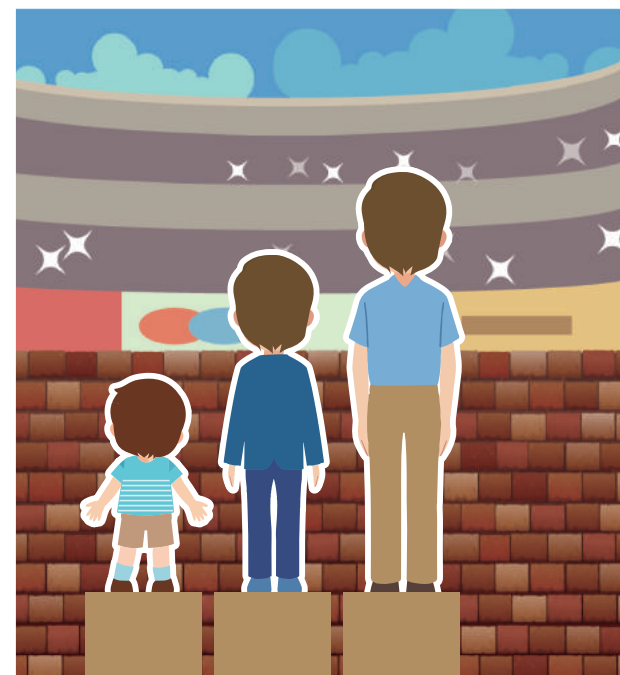
高齢になっても障害があっても、大人でも子どもでも、みんなが一緒に参加し、活動できるスポーツ。
例：ボッチャ、ブラインドサッカー、卓球バレー

障害のある人も高齢者も社会の中で活躍できる社会を目指しています。

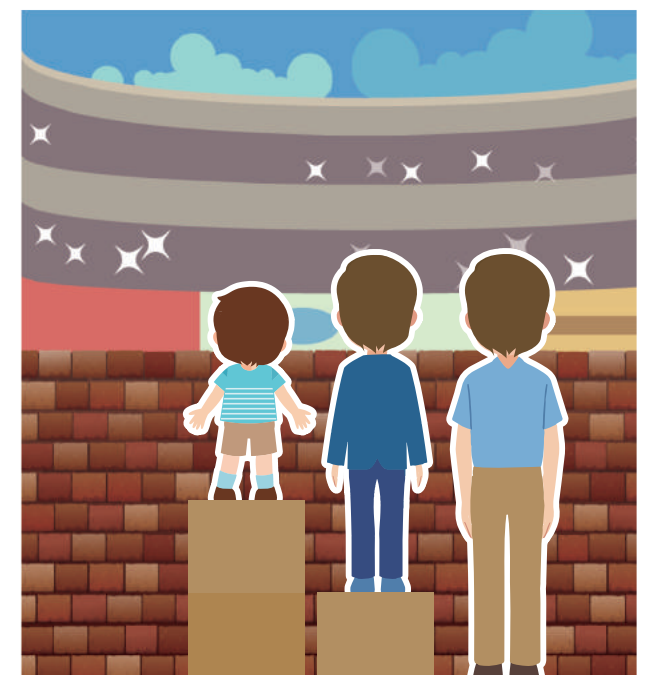
➡ 障害者雇用促進法
シルバー人材

合理的配慮

障害のある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること。



この絵を見て
あなたはどのように考えますか？



考えたこと

心のバリアを体感してみましょう

(A) 次の場面での会話についてどう感じますか。



男性：どうぞ、お座りください。

女性：まあ、ご丁寧に。ありがとうございます。

(B) では、同じ場面でこんな会話だったらどう感じますか。



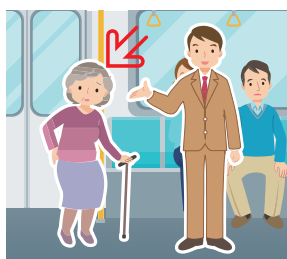
男性：どうぞ、お座りください。

女性：いえ、結構です。

(A) (B) 両方の場面を比べて、どちらの会話のほうがよいと思いますか。その理由も考えてください。

(C) では、この女性について考えてみましょう。

(A) (B) の会話の内容は、今は考えず、この絵の女性に集中してください。あなたは、この絵の女性は何に困っていると思いますか。その理由も考えてください。



(D) それでは、もう一度この女性を見てください。今からこの女性の紹介をします。



この女性は、高齢者です。膝と腰を曲げて立っているのが、つらいときがあります。しかし、一度座ると次に立つ時に、とても時間がかかってしまいます。今日は次の駅にある娘さんのお家に行く途中です。この駅は降りる人が多いので、いつも降りられるかどうか不安を抱えながら電車に乗っています。

娘さんには2歳になる男の子がいて、その子に会うのがこの女性の何よりの楽しみです。

(E) これでこの女性のことが少しわかりましたね。それでは、もう一度 (B) の会話に戻り、あなたが先ほど書いたことを見直してください。

先ほど書いたことと、今自分が感じていることに何か違いがありますか。その違いの原因は何でしょうか。

ここまでで何か気がつきましたか。クラスで気がついたことを話し合ってみましょう。話し合いの中で、新しい発見があればメモを取っておきましょう。

(F) では、この女性のことを考えながら、次の会話を続けてください。



男性：どうぞ、お座りください。

女性：いえ、結構です。

男性：()

女性：()

※続けられるならこの後も続けて考えてみてください。

振り返り 「心のバリア」とは何か、を中心に考えて、今日の振り返りをしてみましょう。

から 「心のバリア」について一言お願いいたします。

「すべての人の社会参加」を考えてみましょう

ワークシート

年 組 番 名前

今回は、「『すべての人の社会参加』を考えてみましょう。」という授業をします。授業の準備として、以下のことに取り組んでみましょう。

① 「障害の社会モデル」

次の授業には「障害の社会モデル」という言葉が出てきます。この言葉の意味について説明します。

- ・ 障害は「社会的な差別や不平等」によってもたらされるものであり、「社会やまわりの環境の問題」であるという考え方。
- ・ 障害のあるなしにかかわらず、だれもが安心して生活できるために、「変わらなくてはいけないのは個人ではなく社会」という考え方。

② 自分の今までの体験・経験の中で、見聞きした「社会（学校も含む）で困っていた人々の様子」を記入して下さい。（どんな場面で、どんな出来事だったのかを具体的に書きましょう。）

③ その時に、あなたが感じた「社会やまわりの環境の問題」はどんなことだったでしょうか。

④ 授業の振り返り

から

「すべての人の社会参加」を考えてみましょう

グループワーク用まとめシート

年 組 番 名前

すべての人の社会参加
テーマ「

実現を阻むこと（障壁）

実現するために必要なこと

実現を阻むこと（障壁）を取り除くために私たちにできること



【生徒・理解編】ワークシート

実践のポイント

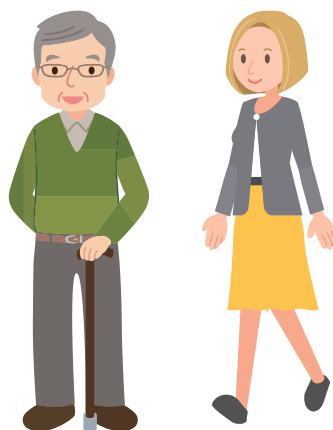
見方や考え方の幅を広げる

年 組 番 名前

見えるのに見えていない…。あなたは、どうでしょう。

ワーク

1



両者の間には障壁（バリア）が…



「それって何だろう？」

障壁となりそうなことを書いてみよう

✓ 障壁（バリア）1（環境に関わること）

Grid for writing barriers related to the environment.

✓ 障壁（バリア）2（相手に関わること）

Grid for writing barriers related to the other person.

✓ 障壁（バリア）3（自分に関わること）

Grid for writing barriers related to oneself.

✓ 障壁（バリア）4（ ）に関わること

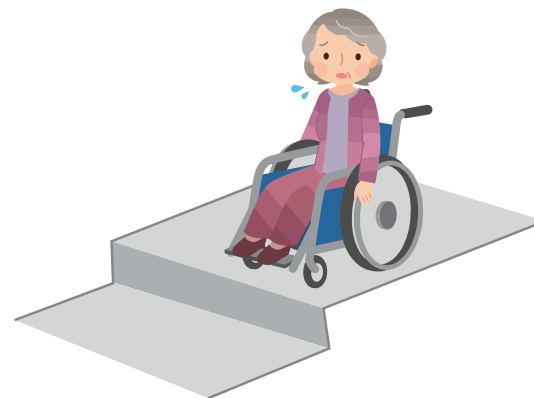
Grid for writing barriers related to a specific category.

【生徒・理解編】ワークシート

年 組 番 名前

ワーク

2



両者の間には障壁が…



「それって何だろう？」

障壁となりそうなことを書いてみよう

✓ 障壁（バリア）1（環境に関わること）

Grid for writing barriers related to the environment.

✓ 障壁（バリア）2（相手に関わること）

Grid for writing barriers related to the other person.

✓ 障壁（バリア）3（自分に関わること）

Grid for writing barriers related to oneself.

✓ 障壁（バリア）4（ ）に関わること

Grid for writing barriers related to a specific category.

【実践編①】ワークシート (自ら考え、意思決定する)

実践のポイント
実際の行動につながるような目標設定を立てる

記入日: 月 日 ()

年 組 番 名前

① 私ができる (できそうな) 「学級・ホームルーム」でのバリアフリー

② あなたができる (できそうな) 「学級・ホームルーム」でのバリアフリーを行動するにあたって、障壁になることまたはなりそうなことはありますか。考えてみよう。

障壁となりそうなことを書いてみよう

✓ 障壁 (バリア) 1

✓ 障壁 (バリア) 2

✓ 障壁 (バリア) 3

✓ 障壁 (バリア) 4

③ 障壁をなくすためにできる (できそうな) ことを2つ具体的に書いてみよう。(具体策)

1.

2.

④ 今日から1か月間、あなたが書いた具体策を意識した行動を心がけてみましょう。
1か月後、自分自身の行動を振り返ります。(振り返り予定日 月 日)

◆ 達成度について考え、当てはまる箇所に印を付けましょう。

1 (意識しなかった) ・ 2 (意識したができなかった) ・ 3 (5割できた) ・ 4 (8割できた) ・ 5 (できた。もっとできそう)

振り返り

⑤ 学級・ホームルームで「心のバリアフリー」について考え、行動する学習をしてきました。生徒自身の学びのプロセスが見えてきます。お読みいただき、コメントをご記入ください。

から

【実践編②】ワークシート (自ら考え、意思決定する)(自分の学びを社会に生かそうとする)

実践のポイント
日常生活の場面で学習した見方、考え方を生かし行動につなげる

記入日: 月 日 ()

年 組 番 名前

① 私ができる (できそうなまたはやってみたい) 「学校以外の場面」でのバリアフリー

② あなたができる (できそうなまたはやってみたい) 「学校以外の場面」でのバリアフリーを行動するにあたって、障壁になることまたはなりそうなことはありますか。考えてみよう。

障壁となりそうなことを書いてみよう

✓ 障壁 (バリア) 1

✓ 障壁 (バリア) 2

✓ 障壁 (バリア) 3

✓ 障壁 (バリア) 4

③ 障壁をなくすためにできる (できそうな) ことを2つ具体的に書いてみよう。(具体策)

1.

2.

④ 今日から3か月間、あなたが書いた具体策を意識した行動を心がけてみましょう。
3か月後、自分自身の行動を振り返ります。(振り返り予定日 月 日)

◆ 達成度について考え、当てはまる箇所に印を付けましょう。

1 (意識しなかった) ・ 2 (意識したができなかった) ・ 3 (5割できた) ・ 4 (8割できた) ・ 5 (できた。もっとできそう)

振り返り

⑤ 「心のバリアフリー」について考え、行動する学習をしてきました。生徒自身の学びのプロセスが見えてきます。お読みいただき、コメントをご記入ください。

から